

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. プログラム名：婦人科腫瘍専門医取得プログラム
病院名：四国がんセンター

2. 診療科（専門領域）：婦人科（婦人科がん）

3. コースの概要

留学期間中、婦人科を 3～6 ヶ月ローテーションし、日本婦人科腫瘍学会が定める専門医取得に必要な症例数を経験する。

4. 目標

一般目標：婦人科がんの総合的な診療能力を高め問題解決能力を取得すること。手術手技のみならず、検査や術前術後管理についての基本的な概念を習得します。

短期目標：留学期間内に、日本婦人科腫瘍学会専門医取得に必要な、上記専門領域における手術手技症例を経験することを目標とする。

【期間内の目標手術経験数（術者数/経験数）】

婦人科浸潤がん手術； 必要例数/60 例

広汎性子宮全摘術； 必要例数/20 例

長期目標：婦人科がん診療の専門知識と幅広い臨床能力を取得し、婦人科腫瘍専門医としての全人的な育成を行う。婦人科がん診療において、問題点の発見と解決する能力を身につける。

6. 取得手技

婦人科がんにおける診断・治療の基礎知識の習得と、手術による治療と術前術後管理、各種検査手技（コルポスコプ、超音波検査、子宮鏡など）を学ぶ。

7. 研修期間：3～6 ヶ月間

8. 募集人数：同時期は 1 名のみ

9. 診療科の実績と経験（術者もしくは助手）目標症例数（任意）

【婦人科】

No.	疾患	実績(年間)	目標件数(6ヶ月間)
1	子宮頸癌	20	5
2	子宮体癌	46	10
3	卵巣癌	59	15
4	ロボット手術(悪性)	9	3

(令和4年度症例数)

10. 各診療科の指導体制

診療科	常勤医師数	指導責任者(経験年数)
婦人科	6	竹原 和宏(35年)

11. コンセプト

当院の婦人科は子宮頸癌、体癌、卵巣癌症例が豊富で、十分な教育体制が整っている、NHOでは数少ない施設です。本コース選択者は、婦人科がん領域について、個々の能力や経験に見合った指導を受け、日本婦人科腫瘍学会専門医を取得するための必要経験症例数を経験することが可能です。

12. その他

関連領域の研修に関して：留学期間内に必要症例数をクリアし、他科での研修を希望する者には考慮します。

共通領域研修について：院内開催の卒後教育研修や院外セミナー・研修・講演会に自由に参加できます。国内学会発表も考慮します。